

■ 今月のメッセージ(平成21年11月)

日本銀行富山事務所長

水上 誠一

雑談の定番は、天気と景気でしょうか。「県民性」も結構盛り上がりますね。それでは、公表統計で富山人の県民性をみてみましょう。

1. お金、ちゃんと使っとるけ？（収入・支出編）

1カ月の世帯収入（平成20年）は6位で62万円、世帯主の妻の有業率（平成20年）は第14位（45%）と、全国平均（41%）に比べ意外と差は小さいですね。

ただ、税金・社会保障費の負担（平成20年）が第5位（14%）と少なく、実質的には裕福のようですが、勤労者世帯の家計収支（平成18年）では、実支出÷実収入の比率が69%と少ない方から第1位でした。最新の平成20年では、第30位（79%）と、以前より使って頂いていることが判明しました。「節約」がブームのようですが、個人消費がGDPの6割を占めるなかで、使えるお金は是非有効活用してください。

2. お金貯め過ぎとらんけ？（貯蓄・負債編）

貯蓄の現在高は（平成20年）第4位（1,664万円）ですが、負債は第26位（636万円）と意外と多いですね（全国平均:661万円）。貯蓄マイナス負債では、第7位（1,028万円）としっかり貯めておられます。この純貯蓄がお孫さんのためだとしたら、それは間違いかもしれません。お孫さんのためにも、今しっかりと使って景気をよくしましょう。

3. 貧しい人は、ようけはおらんちゃ！（所得編）

年間所得が1000万円以上の世帯数が第7位（179戸、1千世帯当たり<平成19年>）と健闘している一方、200万円未満の世帯数は少ない方から第2位（44戸）、生活保護を受けている世帯数は少ない方から第1位（30戸）と、貧しい人の割合は小さいようです。

4. 教育するなら富山が最高やちゃ！（教育編）

全国学力調査（中学3年、平成20年）が3位と優秀であるのに対し、補習教育支出（1カ月）は、多い方から第35位（221千円）であり、費用対効果が抜群です。県外から戻ってこないことを嘆くのではなく、どんどん優秀者を輩出する教育立県を目指しましょう。

最後に、もう一つ、給食費未納の児童・生徒数（千人当たり、平成17年度）が、第1位の2.6人と、賢い生徒の保護者の皆さんも、やはりしっかりした方であることを確認でき、安心いたしました。